

第22回東京免疫フォーラム

22nd Molecular Immunology Forum Tokyo

日時： 2013 年 3 月 14 日（木）13:00～18:15

場所： 東京大学医科学研究所 講堂（1号館1階）

東京都港区白金台4-6-1 <東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線“白金台駅”下車、徒歩5分>

《 挨拶 》 烏山 一（東京医科歯科大） 13:00-13:05

Session 1 マスト細胞の活性化制御 座長：高木 智（国際医療研究センター）

北浦 次郎（東大医科研） 13:05-13:27

「抑制型レセプターLMIR3/CD300f は細胞外脂質セラミドを認識してマスト細胞の活性化と付随するアレルギー反応を抑制する」

小田 ちぐさ（筑波大） 13:27-13:49

「フォスファチジルセリンを認識する CD300a 分子の解析」

Session 2 DAMPs, PAMPs による炎症応答 座長：中島 裕史（千葉大）

小内 伸幸（東京医科歯科大） 13:49-14:11

「血球貪食を行う単球由来樹状細胞による免疫制御」

七田 崇（慶応義塾大） 14:11-14:33

「脳虚血後炎症における自然免疫の役割」

真田 貴人（東大医科研） 14:33-14:55

「赤痢菌 III 型分泌 OspI による炎症抑制機構の新規メカニズムの解明」

< 休 憩 15 分 >

Session 3 T 細胞分化の新機軸 座長：齋藤 隆（理研）

大洞 将嗣（東京医科歯科大） 15:10-15:32

「T 細胞分化とストア作動性カルシウム流入」

桑原 誠（かずさ DNA 研） 15:32-15:54

「転写因子 Sox4 による Th2 細胞分化とアレルギー性炎症の制御」

西村 聡修（東大医科研） 15:54-15:16

「iPS 細胞による T 細胞の若返り」

Session 4 公募演題講演 座長：三宅 健介（東大医科研）

大戸 梅治（東京大） 16:16-16:28

「自然免疫系 RNA 認識受容体 TLR8 の結晶構造」

古澤 純一（慶應義塾大・理研） 16:28-16:40

「GATA3 はナチュラルヘルパー細胞の分化及び Th2 サイトカイン産生に重要である」

江川 真由美（東京医科歯科大） 16:40-16:52

「皮膚アレルギー炎症部位に浸潤した炎症性単球が、好塩基球由来の IL-4 の作用により 2 型マクロファージへと分化し、アレルギー炎症を抑制する」

< 休 憩 15 分 >

特別講演 座長：小安 重夫（慶應義塾大・理研）

天谷 雅行（慶應義塾大） 17:10-18:10

「皮膚バリア機能異常とアトピー性疾患」

< 懇 親 会（演題終了後 於 医科研生協・白金ホール） >

フォーラムへの参加費は無料、懇親会参加費は千円（学生無料）です。事前登録の必要はありません。